

G FUKUTSU

明日を思う。暮らしを思う。

議会だより ふくつ

春号

特集

未来に何を残すのか

令和8年度当初予算を検証



1月臨時会・2月臨時会・3月定例会 contents

表紙：勝浦人形浄瑠璃

特集 P2 議案審議 P5 賛否表 P7 総括質疑 P8 一般質問 P9
委員会調査レポート P12 認知度調査 P14 議会トピックス、おたよりカフェ P15

自主財源確保

倉元 敏徳 議員
企業版ふるさと納税
予算額：220万円

本事業は、委託業者によるマッチング支援を拡大し、目標額の1000万円を目指す。行政と委託業者が一体となり目標額達成に期待。

大山 隆之 議員
企業版ふるさと納税
予算額：220万円

今年度の目標額を1000万円としているが、業務委託だけで目標達成するのか、市長自身が目標額を達成するための積極的な活動をしていくのか注視。



議員の
注目ポイント

子育て・教育

秦 浩 議員
津屋崎中学校整備改修
予算額：4億7665万円

新設小学校からの進学先が津屋崎中学校となることから、普通教室や職員室の増設を行う。今後は特別教室の確保についても、早期に検討する必要がある。

佐伯 美保 議員
小中学校の図書購入
予算額：789万円

昨年より図書購入費を増額したことは評価するが、文科省の基準によって交付税措置されている金額より900万円低い。交付税措置に見合う予算増額が必要。

山本 祐平 議員
特別支援教育
予算額：7677万円

特別支援教育支援員の増員予定なし。通常学級にも支援を要する児童・生徒が増加しているため、フォロー体制強化の為に増員が必要では。

世界遺産

尾島 武弘 議員
古墳群清掃委託
予算額：249万円

古墳清掃等は主に地元の人が担っている。令和8年度の清掃委託料は前年から77%減額。世界遺産等の通常管理は難しく、市の管理対策を注視する。

子育て・教育

石田 まなみ 議員
多胎妊産婦サポーター事業委託
予算額：2万円

活用実績から前年度より2万円減額されている。支援内容として十分なのか、活用が進まない要因は何か、改善の余地はないか、検討が必要と考える。

中村 恵輔 議員
福岡南小学校整備改修
予算額：7863万円

調理実習で他校へバス移動していた状況を解消する家庭科室整備と、トイレの洋式化による混雑緩和は評価。図工室の整備を含む更なる環境改善が必要。

防災・減災

中村 晶代 議員
市営住宅災害復旧
予算額：2500万円

昨夏の大雨で法面崩落とフェンス倒壊被害。再発防止へブロック積み土留めとフェンス設置工事を雨季を避け今秋に施行予定。住民への丁寧な説明を求める。

戸田 進一 議員
雨水浸水対策
予算額：7140万円

昨年8月豪雨被害者は、すみやかな改修実施を望んでいる。有効な計画策定は当然ながらも、計画待ちとせず、すぐに着手可能な事業の実施も求める。

豆田 優子 議員
地区防災マップ作成
予算額：316万円

今ある地域防災計画は、市全体の計画に対し、今回の事業はより身近な地域単位での計画であり、市民・専門家と一緒に作成することに期待。

まちづくり

井手口 忠信 議員
立地適正化計画策定
予算額：1395万円

持続可能で災害に強い都市「コンパクト・プラス・ネットワーク」をめざすマスタープラン策定事業。将来を見据えたまちづくりへの第一歩に期待。

中村 清隆 議員
東福岡駅周辺地域団地再生
予算額：4億471万円

神興地区の郷づくりから請願が提出され、約9年かかっている事業。市民、議会、行政が一体となったまちづくりであり、今後の地域賑わい活性化に期待。

榎本 博 議員
東福岡駅周辺地域団地再生
予算額：4億471万円

本年度は若木台駅前広場と東福岡第1公園の整備に着手するとあるが、東部汚水処理場跡地の利活用も望まれる。住民の要望も高く早期の対策を求める。

自然・環境

米山 信 議員
環境基本計画策定
予算額：47万円

環境の保全・創造に関する基本施策を策定した福津市環境基本計画。第2次計画の点検・評価および第3次計画を策定する予定。今後に期待。

地域公共交通

岩下 豊 議員
地域交通体系整備
予算額：1億1384万円

運転士不足等の影響による路線バス廃止で公共交通空白地拡大の可能性があり、移動手段確保は喫緊の課題。公共交通充実の抜本的対策を求めていく。

高山 賢二 議員
地域交通体系整備
予算額：1億1384万円

西鉄バス運行補助金やミニバス運行委託料など、多額の予算措置にもかかわらず、学生や高齢者の移動手段は十分とは言えない。市全体の交通体系の見直しを求める。

未来に 何を残すのか

～臨時行財政運営方針を踏まえた令和8年度当初予算を検証～

市は昨年12月に臨時行財政運営方針を発表。将来にわたる強固な財政基盤の確立と政策的な経費に活用可能な財源を確保し、今後の行政需要に的確に対応するために、令和8・9年度を臨時行財政運営方針の対象期間として市政運営を行うとしています。方針では緊急性・重要性の高い施策に市の力を集中するとする3つの柱を掲げました。

1、災害に強く、安心して暮らせるまちづくり
昨夏の豪雨災害からの着実な復旧と、地区ごとに防災計画を策定し、災害時の自助・共助の力を高めます。

2、次世代を育む教育環境の整備
中学校35人学級導入に向けた教室の確保、令和9年4月の新設小学校開校に向けた取り組み、過大規模校の環境改善を進めます。

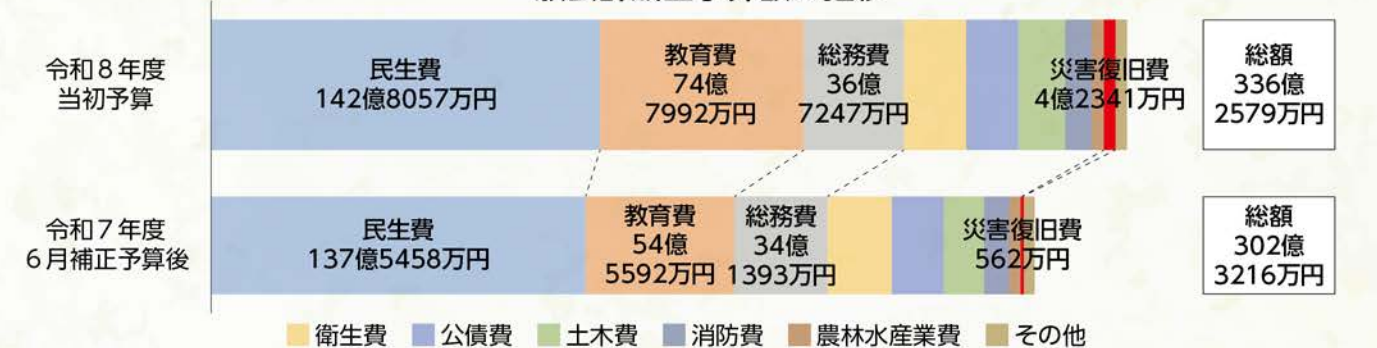
3、人も企業も行政も「稼ぐ」まちづくり
ふるさと納税への更なる注力や企業版ふるさと納税の拡充、受益者負担の適正化等に取り組み、自主財源確保に努めます。

令和8年度当初予算の概要

一般会計：336億2579万円 過去最大規模の予算

一般会計予算では、新設小学校建設費や津屋崎中学校校舎増築等で教育費が大きく増加（昨年度比137%）。また、昨夏の豪雨災害からの復旧工事のための災害復旧費も大幅増加（昨年度比7538%）。人口増加と災害の影響を反映した予算になっています。

一般会計歳出予算額の推移



PICK UP 新設小学校の概要

小・中学校の過密対策として、令和9年4月開校予定で、宮司地区に新設小学校建設を進めています。

◆令和8年度関連予算

新設小学校建設事業	36億4453万円
新設小学校道路整備事業	9600万円
新設小学校環境整備事業（備品等）	1億7383万円
新設小学校ICT環境整備事業	4340万円

◆令和8年度スケジュール

- 令和9年2月 造成工事、校舎建築工事完了
- 開校準備（校歌、通学案内等）
- 学校運営備品等の搬入 ⇒令和9年4月開校

【その他の主な事業】

津屋崎中学校整備改修事業	4億7665万円
東福岡駅周辺地域団地再生事業	4億471万円
学童保育所整備事業	2億658万円
道路橋梁災害復旧事業	1億9724万円

一般会計当初予算を1万円に置き換えた場合の内訳

民生費	4,247円	消防費	290円
教育費	2,225円	農林水産業費	134円
総務費	1,092円	災害復旧費	126円
衛生費	680円	議会費	62円
公債費	569円	商工費	56円
土木費	509円	予備費ほか	10円

議員の期待度

臨時行財政運営方針で掲げる緊急性・重要性の高い3つの柱に関する予算について、議員の期待度を聞いてみました。

大いに期待 A	期待する B	もう少し C
 大井山  中村恵輔  井手口  中村晶代  高山	 山本  秦  石田  榎本  米山	 岩下  倉元  佐伯  戸田
 中村晶代	 大井山  中村恵輔  山本  井手口  秦  石田  尾島  榎本  米山  高山	 岩下  倉元  佐伯  戸田
 大井山  中村恵輔  井手口  中村晶代  榎本  米山	 山本  岩下  秦  石田  尾島  戸田  高山	 佐伯  倉元  尾島  戸田

災害に強く、
安心して暮らせる
まちづくり

次世代を育む
教育環境の整備

人も企業も行政も
「稼ぐ」まちづくり

各議員の表情にも
ご注目ください。

議案審議

議案等が議会に提出されてから議決されるまでの審議・審査の内容を報告します。

1月臨時会
2月臨時会
3月定例会

予算審査(補正) 特別委員会

【一般会計】令和7年度予算に合計9612万円増額し、総額319億2281万円となった。

1月臨時会
食料品等物価高騰支援事業費
食料品等物価高騰支援給付金を交付するための費用
3億92338万円

3月定例会
農業用施設災害復旧事業費
農業用ため池、水路、農道等の災害復旧事業費
1億3582万円

総務文教委員会

2月臨時会

新設小学校工事請負変更契約を締結

造成工事は既に進んでいるが、当初契約のままでは対応できない箇所が出てきたため契約内容を見直すもの。

可決

主な質疑

問 工程の変更によって、大雨時の周辺地域への安全性及び完成後の安全性の担保について影響はないのか。

答 雨水がオーバーフローしないように場内の仮設の排水設備から洪水調整池に流れるようにし、その後放流することとを検討しており、仮設の沈砂池も設置する予定。

また、盛り土の最終的な仕上げ高に変更はなく構造的にも安全上問題はないと考える。

3月定例会

市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例を改正

市長公約に基づき市長給与等の10%を削減する条例改正

否決

主な質疑

問 市長公約として掲げられた10%という数値には、どのような算定根拠があるのか。

答 市の特別職間の給与バランスを維持する観点から設定したもので、市長の職責の重さを踏まえ、副市長などの均衡を大きく損なわない範囲として定めた。

可決

問 年間計約145万4000円の試算になるが、どのように活用するのか。その具体的な使い道は。

答 削減した財源を活用し、教育委員会でも未来プロジェクトの事業を実施したいと考えている。



▲使用料改定が検討された公共施設

武道館条例を改正

公共施設使用料設定に係る基本方針に基づき、武道館の

使用料を改正。

委員会

可決

本会

否決

主な質疑

問 利用者が納得できるだけのサービス向上が示されているのか。

答 使用料収入は特定の用途に限定されないものであり修繕等については市全体の財政として緊急性や重要性に基づき優先順位を判断していく。利用者が使いやすいような工夫は検討すべきと考えている。

市立学校の施設の開放に関する条例を改正

公共施設使用料設定に係る基本方針に基づき、学校施設の使用料を改正。

否決

主な質疑

問 社会教育を目的とする団体についても受益者負担の原則を適用し、現在の全額減免から少なくとも半額負担へ移行する方針で進めるという理解でよいのか。

答 今後は半額減免とするか、減免をなくすかの判断になるが、今回の運用方針に基づけば、その方向で進めていく必要があると考えている。



報告書はこちら

市民福祉委員会

特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例を制定

4月から開始のことも誰でも通園制度についての条例を制定。

可決

主な質疑

問 大和保育所で実施するが、今後、他の園へ展開するのか。

答 現在、待機児童が多いため、一般保育に影響が出ない範囲で、私立園でも可能か各園と協議したい。

問 定員と利用方法は。アレルギーの確認は行うのか。

答 定員は1日3人、月曜、金曜の5日間、1週間計15人から始める。利用登録は専用サイトでの申請。アレルギーの確認は行つが食事提供はない。



▲こども誰でも通園制度がはじまった大和保育所



撮影協力 勝浦人形浄瑠璃保存会

今号は「未来に何を残すのか」をテーマに令和8年度当初予算を特集しました。過去最大規模の当初予算は、歳入面で地方交付税や固定資産税が増加しますが、歳出面で物価高騰や人口増加によって扶助費や人件費などが増加。その結果、財政の硬直化が進むと予想されます。「選択と集中」が掲げられる中、議会では当初予算を慎重審議しました。未来に何を残すのか。勝浦人形浄瑠璃保存会の皆さんの思いのように、市の未来を考えていきたいと思います。



家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例を改正

県が地域限定保育士制度を開始したことに伴い、県の講習を受講すれば県内限定保育士になれるよう条例を改正。

主な質疑と意見

可決

問 地域限定保育士制度は、保育士不足解消が目的か。受講のみで試験はないのか。

答 保育士不足への対応が目的である。筆記試験はあるが、実技試験の代わりに実技講習を受講することになる。

反対

保育士資格は国家資格であるが、地域限定保育士は県の講習を受講すれば実技試験を免除される制度で、保育士不足解消のためとはいえ資格取得のハードルを下げることは問題である。

国民健康保険税条例を改正

国保税率の改正および子ども・子育て支援納付金を賦課、徴収するために条例を改正。

主な意見

可決

反対 子ども・子育て施策の財源を国民健康保険加入者に求め、保険税が僅かでも上が

健康福祉総合センター条例を改正

公共施設使用料設定に係る基本方針に基づき、ふくとぴあの使用料を改正。

主な質疑と意見

否決

問 今、減免対象の団体数は、福祉団体14団体である。

賛成 将来世代に負担をかけないために、ある程度の負担は分かち合う必要がある。

反対

全額免除から半額免除への変更を強行されると、福祉団体の利用が難しくなり、活動を維持できなくなる団体があると考えるので利用料を改定すべきではないと考える。

福岡会館条例を改正

公共施設使用料設定に係る基本方針に基づき、福岡会館の使用料を改正。

委員会

可決

否決

主な質疑と意見

問 今、減免対象の団体数は、4団体である。

賛成 受益者負担の考え方が含まれる基本方針と、施設の設置目的を定めた条例との整合性が取れないため反対。



報告書はこちら

建設環境委員会

下水道条例を改正

公共下水道事業が将来にわたり良質なサービスを安定的に提供できるよう、経営基盤の強化を図ることを目的に使用料を改定。

委員会

可決

否決

主な質疑と意見

問 資金不足の3割を使用料で賄うとされているが、その3割が妥当と判断した根拠は。

答 繰入金比率と企業債残高対事業規模比率を、5年間で他団体と同程度に下げることが目標として検証した結果、3割が妥当との結論に達した。

賛成

値上げの理解を得ながら進めることを期待し賛成。



▲市民の暮らしを支える市浄化センター

漁港管理条例を改正

小型船舶係留等施設は貸与先事業者の選定によって、令和8年4月1日から民間企業による運営となるため、条例を改正。

主な質疑

可決

問 施設を民間に貸与することについての説明会は何回実施したのか。その説明会で利用者の理解は得られたのか。

答 昨年9月に民間公募に関する説明会、2月に来年度以降についての説明会を開催した。しかし、詳細な説明ができていないとは認識していない。今後も真摯に説明していきたい。

公園条例を改正

公共施設使用料設定に係る基本方針に基づき、有料公園施設の使用料を改正。

主な質疑

可決

問 市内、市外で使用料を区分しているが、団体利用の場合はどうに判断するのか。

答 団体構成の50%以上が市内ならば、市内者と判断している。



報告書はこちら

本会での発議

【特別委員会の設置】基金運用における債券の含み損問題に関する調査のため特別委員会（百条委員会）を設置する決議の提出について

提出者 山本 祐平

目的

基金運用における法令順守の有無並びに内部統制および再発防止策の確認。

理由

令和7年5月に基金管理運用聴取委員会が設置され、関係者への聴取が行われた。元市長は事前質問アンケートには回答したが、口頭での聴取には応じなかった。また、元会計管理者は事前質問アンケートに未回答で返信、口頭による聴取にも応じなかった。元市長と元会計管理者には十分な聴取ができず、執行部には調査権がないため、第三者委員会を含めこれ以上の調査は行わないとしている。今後基金を健全に運用するための方策は示しているが、二度と同様の問題が起きないか疑問が残る。この含み損問題は、臨時行財政運営方針でも資金

需要への懸念が明記され、市政運営に影響を与えていることは明らかである。再発防止策を講じ、市民への説明責任を果たすために原因究明は必須。議会の責務として調査特別委員会を設置する。

主な意見

賛成

基金が原因で、3つの緊急性・重要性の高い施策に集中せざるを得ない状況にまでなったのは極めて重要な問題。議会としての責任を果たす必要があると考えるため賛成。

人事案件に同意

《固定資産評価審査委員会委員》

早谷 濱良さん

井手 江美さん

横山 清香さん

任期 令和8年4月1日

任期 令和8年4月7日

任期 令和12年4月6日

《人権擁護委員候補者の推薦》

笠置 千晶さん

任期 令和8年7月1日

令和11年6月30日

1月・2月臨時会、3月定例会		公開します。みんなの賛成と反対																		
結果	議 員 名	大山 隆之	中村 恵輔	山本 祐平	岩下 豊	井手 忠信	倉元 敏徳	佐伯 美保	秦 浩	石田まなみ	中村 晶代	尾島 武弘	豆田 優子	戸田 進一	櫻本 博	米山 信	中村 清隆	高山 賢二		
1月臨時会																				
可決	令和7年度一般会計補正予算(第6号)																			
2月臨時会																				
承認	専決処分した事件の承認(令和7年度一般会計補正予算(専決第2号))																			
可決	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更																			
可決	工事請負変更契約を締結(新設小学校造成工事(2工区))																			
3月定例会																				
可決	令和7年度一般会計補正予算(第7号)																			
可決	令和7年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)																			
可決	令和7年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第4号)																			
可決	令和7年度介護保険事業特別会計補正予算(第4号)																			
可決	令和7年度公共下水道事業会計補正予算(第2号)																			
可決	令和8年度一般会計予算																			
可決	令和8年度国民健康保険事業特別会計予算																			
可決	令和8年度後期高齢者医療事業特別会計予算																			
可決	令和8年度介護保険事業特別会計予算																			
可決	令和8年度公共下水道事業会計予算																			
同意	固定資産評価審査委員会委員の選任への同意(早谷 浜良さん)																			
同意	固定資産評価審査委員会委員の選任への同意(井手 江美さん)																			
同意	固定資産評価審査委員会委員の選任への同意(横山 清香さん)																			
同意	教育委員会委員の任命への同意(村井 弥生さん)																			
適任	人権擁護委員候補者の推薦(笠置 千晶さん)																			
可決	一般職の職員の給与に関する条例を改正																			
否決	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例を改正																			
可決	防災会議条例等を改正																			
可決	行政手続条例を改正																			
否決	武道館条例を改正																			
可決	体育施設条例を改正																			
可決	勝浦浜海洋スポーツセンター条例を改正																			
可決	公民館条例を改正																			
可決	複合文化センター条例を改正																			
否決	市立学校の施設の開放に関する条例を改正																			
可決	特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定																			
可決	市立保育所条例を改正																			
可決	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例を改正																			
可決	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例を改正																			
可決	国民健康保険税条例を改正																			
可決	介護保険条例を改正																			
可決	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例を改正																			
否決	健康福祉総合センター条例を改正																			
否決	福岡会館条例を改正																			
否決	下水道条例を改正																			
可決	附属機関設置条例を改正																			
可決	漁港管理条例を改正																			
可決	火入れに関する条例を改正																			
可決	農林漁業体験実習館条例を改正																			
可決	まちおこしセンター条例を改正																			
可決	津屋崎千軒民俗館条例を改正																			
可決	津屋崎千軒古民家条例を改正																			
可決	行政・観光情報ステーション条例を改正																			
可決	公園条例を改正																			
可決	コミュニティセンター条例を改正																			
可決	郷づくり交流センター条例を改正																			
可決	市道路線を認定																			
否決	基金運用における債券の含み損問題に関する調査のため特別委員会を設置する決議																			

※議長は表決に参加しません

※議長は表決に参加しません

○は賛成 ●は反対 一は欠席 *は棄権

◆臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情／一般社団法人 中国における臓器移植を考える会 代表 丸山 治章さん ◆基金運用(国債・社債)における含み損(約32億円 令和7年11月末現在)発生の解明に係る100条委員会(通称)設置に関する陳情書／小澤 文夫さん ◆mRNAワクチン(レプリコンワクチンを含む)接種事業中止の意見書提出を求める陳情書／宇井 敦さん

市政を問う!

一般質問

議員が市長や教育委員会などに対して、市政全般の執行状況や方針等を問うたり、説明を求めたりしました。

今回は
12人でした



高山 賢二 議長

先送りした減税公約は検討したのか

答弁 調査研究会議を設置したが、研究には至っていない



山本 祐平 議員

議員が市長や教育委員会などに対して、市政全般の執行状況や方針等を問うたり、説明を求めたりしました。



▲厳しい財政状況をどう乗り越えるか

減免規定の見直しは市長が決めたのか

答弁 庁議で審議を重ねた上で市長として最終的に判断した



秦 浩 議員

議員が市長や教育委員会などに対して、市政全般の執行状況や方針等を問うたり、説明を求めたりしました。



▲学校開放で使用するグラウンド

南小の教育環境改善、市と高校の連携は

答弁 施設整備と通学選択肢の拡充、高校連携で学びを広げる



中村 恵輔 議員

議員が市長や教育委員会などに対して、市政全般の執行状況や方針等を問うたり、説明を求めたりしました。



▲「今」いる子どもたちのために教育環境の向上を

高齢者権利擁護の更なる推進への取り組みは

答弁 適切な制度利用の支援と啓発・情報周知に努める



井手口 忠信 議員

議員が市長や教育委員会などに対して、市政全般の執行状況や方針等を問うたり、説明を求めたりしました。



▲相談は地域包括支援センター(ふくとぴあ1階)へ

総括質疑



今回は
3会派でした

当初予算編成の基本となる市政運営の指針に対して、各会派の代表が総括して質疑をしました。

疑義を質す!

ただ

大雨被害施設の復旧完了スケジュールは

答弁 8年度から9年度にかけて各施設の復旧を目指している



▲大雨で大きく崩落した道路



議員が市長や教育委員会などに対して、市政全般の執行状況や方針等を問うたり、説明を求めたりしました。



新政会
尾島 武弘 議員

教育環境を守るため体育館の空調設置は

答弁 必要だが財政負担大、検討と協議を重ね方針決定をしたい



▲空調設備のない学校体育館



議員が市長や教育委員会などに対して、市政全般の執行状況や方針等を問うたり、説明を求めたりしました。



福津誠和会
倉元 敏徳 議員

次世代に繋いでいく上での困難とは何か

答弁 厳しい経営状況乗り越えていくことが一番の課題



▲自然・歴史・文化、人と人のつながりがある福津市



議員が市長や教育委員会などに対して、市政全般の執行状況や方針等を問うたり、説明を求めたりしました。



ミモザの会
豆田 優子 議員

コラム

討論とは

討論ってなに?

議会の討論とは、提出された議案に対して議員が賛成・反対の立場から意見や理由を述べ合い、論点を明確にするための重要な手続きです。

討論では、政策の目的や効果、課題などが整理され、他の議員や住民に対して判断材料を示す役割を持っています。そして、その目的は自分と意見が異なる議員と、賛否を決めていない議員を自分の意見に賛同させることにあります。

福津市議会では、本会議と常任委員会、予算審査特別委員会等で採決の前に討論を行います。



市営住宅の長寿命化と再編計画の進捗は

【答弁】 第2期市営住宅長寿命化計画に則り、計画的に実施予定



中村 晶代 議員

問 市営住宅は市民の生存権の保障として憲法に定められた社会保障の環境である。アンケートやパブコメの結果と空室の対策は。また、花見・星ヶ丘団地の再編計画の進捗状況と外壁等の剥がれが見られる五反田団地の改修予定は。

答 子育て世帯向けの戸数の増加やトイレの水洗・洋式化、浴槽、バリアフリー化等への要望が寄せられた。高額な修繕費がかかる空室については、孤独死の問題も含めて今後の検討課題。

団地の集約再編は、令和12～13年度に建て替えを行う計画である。五反田団地は耐用年数が来ているが、危険な状態と判断されれば補修を検討すべきと考える。



▲連絡通路の塗装の剥離が目立つ市営住宅

中学校給食費無償化を検討すべきでは

【答弁】 本市独自財源では負担が大きく無償化は現時点で厳しい



岩下 豊 議員

問 昨年9月定例会で議会は、学校給食費の無償化を求める請願を採択した。日本国憲法は「義務教育はこれを無償とする」とある。教育委員会は、給食を教育と認めており、学校給食は無償であるべきではないか。

令和8年度、小学校給食費の保護者負担をゼロにする。一方で中学校は年6万円超の負担がある。同じ義務教育でこの状況に対する見解は。

答 憲法については文字通りの認識をしている。一方で学校給食法は、市と保護者の負担関係が決められており、給食費は保護者負担と理解している。同じ義務教育だが、中学校の無償化は困難。国の交付金を活用した改定差額分の負担軽減を行う。



▲学校給食費の無償化を求める請願

定められた流下能力不足の井尻川改修は

【答弁】 すぐの改修工事はせず来年度の計画策定以降に検討する



戸田 進一 議員

問 昨年8月豪雨、市内全域で床上浸水85件、床上浸水87件、自動車被害118台。井尻川でもマンションのエレベーターや車などの被害が発生した。井尻川は、過去に計画した改修工事の一部が未実施で、市が定められた基準の流下能力が確保されていない。下水道法では、能力確保をするように定めている。法律に則しておらず、直ちに、対処すべきではないか。

答 井尻川は、ご指摘の通り、定めた流下能力が確保できていない。また、下水道法で確保するように定めているのもその通りだが、判例ではすぐに改修工事をせずとも、市には瑕疵はないとの判断である。中長期計画の中で、今後検討する。



▲8月豪雨による溢水で大きな浸水被害の井尻川

地元飲食店に活イカを流通できないのか

【答弁】 イカを活かしたまま出荷する設備がないので流通が困難



▲いつでも食べられるイカ料理を

問 現在の漁船は、イカを活魚として漁から持ち帰るための設備がなく、市内外に安定的に流通させることが困難との答弁があった。本市では、九州大学の水産実験所とイオン九州との共同研究で、サザエの養殖を行い、現在も養殖プロジェクトが引き続き行われている。それらと併せて、イカを研究するなど、魚種に幅を持たせることはできないのか。

答 現在行っているサザエ養殖の産官学連携プロジェクトを、まずは続けていく必要があると考える。他の魚種についての研究は、研究の規模感や販売方法、市として解決すべき課題を明確にしながら考えていく必要がある。



大山 隆之 議員

企業誘致を見据えた今後の都市計画は

【答弁】 企業誘致により都市計画変更の必要があれば個別に対応



▲長年、未整備のままの都市計画道路

問 農業振興地域の見直しは。また、未整備の都市計画道路は財政状況などを鑑みると実現不可能なものもあるが、見直しや土地の有効活用への考えは。稼げるまちの都市計画の将来像は。

答 国県の基本方針を踏まえつつ、企業誘致の方向性と合致する事業で、都市計画や農業振興地域の変更が必要であれば、個別に対応する。都市計画道路については、手光八並線も含め、今後も定期的に道路の必要性などを検証していく。

企業誘致方針に基づき、必要に応じて土地利用規制を変更していく形での見直しを考えている。企業誘致の係も設け、企業誘致のビジョンに基づいて、しっかりと進めていく。



中村 清隆 議員

処理場跡地に企業誘致はできないか

【答弁】 駅前整備ができると魅力の一つになるので模索したい



▲利活用が望まれる東部污水处理場跡地

問 ある総合メーカーの二代目社長を務めた福津市久末出身で倉田主税という人がいた。実業家としても知られている倉田氏はメーカーを退任後、退職金を投じて「財団法人国際技術振興会」を設立するなど国産技術向上に貢献された。企業誘致等は、市に縁のある事業者へあたってはどうか。

答 市に縁のある事業者、官民連携ということでも非常に有効な手段ではないかと思う。企業誘致も、また企業版ふるさと納税も含め、いろんな活用手段があると思う。企業にとって社会貢献になることをアピールし、福津市にとってもウィン・ウィンの関係になるよう模索していければと思う。



榎本 博 議員

生活保護制度の基本的な理念は何か

【答弁】 憲法25条の生存権に基づいた生活保障と自立支援



▲くらしの困りごとは、生活支援課へ

問 窓口等での相談で多い内容とその対応は。家庭訪問や扶養調査への不安や、生活保護への偏見から申請を避ける方に、行政としてどのような対応をしているのか。

答 最も多いのは今後の生活への不安で、相談内容を整理しながら生活保護や社会資源の活用を助言している。

生活保護決定のための調査は法律で定められている。親族からの援助が見込めない場合は、扶養照会を行わないという国の通知に沿って、丁寧に生活保護に対応している。生活保護は最後のセーフティネット、受給は恥ずかしいことではなく、自立に向けた支援制度であることを説明し、事情に応じて立て直しを支えている。



石田 まなみ 議員

福間南小の過大規模対策の取り組みは

【答弁】 令和8年度は家庭科室の整備とトイレの洋式化を実施



▲1545人、45学級の福間南小学校

問 福間南小学校の過大規模校対策の現状と今後の取り組みは。図工室も関係法令に基づき設置すべきでは。

答 校区外通学制度の効果を高めるための検討は。校舎の改修や増築、近隣公園の整備、水泳授業の外部委託、教職員の加配やコミュニティ・スクールの充実、教育活動の支援等を進めてきた。

令和8年度は家庭科室の整備とトイレの洋式化をする。令和9年度以降に図工室とその他の教室も学校の要望を聞きながら、状況に応じて対策を考えていきたい。

また、通学区域審議会答申を踏まえ、校区外通学制度の新たな選択肢に、福間小学校を含める方向で進めている。



佐伯 美保 議員

他にもこんな質問がありました

議員名	その他の質問
秦 浩	本市の通学路における安全性について
中村 恵輔	福津市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定について
中村 清隆	障がい福祉について 公共施設使用料について

議員名	その他の質問
榎本 博	市民税の5%減税の取り組みと企業誘致について
石田まなみ	市民の健康を守り、病気の予防や早期発見を推進するための施策について 雨に強いまちづくりを進める上での福津市雨水管理総合計画について
佐伯 美保	市の生涯学習政策と公共施設使用料運用の整合性等について 子どもの権利推進の取り組み等について
岩下 豊	臨時行財政運営方針に基づく今後2年間の行財政運営について
戸田 進一	必要とする人に必要なサービスを提供できる「介護制度」の構築について

ふんちゃんを探せ！
ふんちゃんクイズ

ヒントは、
ページをめくって
私を探してね。

①特集で撮影協力してくれた団体は？
②総括質疑をした会派数は？
③G-FUKUTSU認知度調査で回答してくれたのは何人？

委員会 調査レポート



各常任委員会が所管する市の事務について行った所管事務調査と、先進地への行政視察を報告します。

建設環境委員会

経済産業部、都市整備部、農業委員会事務局の事務について調査研究しています。



農業委員会事務局の所管事 務と課題を調査

農業の健全な発展に寄与することを目的として、設置されている農業委員会の組織や所管事務について調査研究するとともに、農地等の利用の最適化を推進するための課題と対策について調査を実施した。

調査結果
農業委員会は、農業生産力の増進および農業経営の合理化を図るため設置されており、農業委員11人、農地利用最適化推進委員10人で構成されている。また、農業委員のうち1人は土地

市民福祉委員会

市民生活部、健康福祉部、こども家庭部の事務について調査研究しています。



介護予防・日常生活支援総合事業と要介護認定を調査

全国的にも課題となっている高齢化の状況から、同事業の仕組みと現状、取り組みを調査。また、要介護認定の審査結果



▲介護予防講座

が届くまでの現状を調査した。**調査結果**

介護予防・日常生活支援総合事業は、75歳以上の後期高齢者の増加に伴い、要介護認定者および介護給付費の増加が見込まれるため、要介護状態を防ぐ目的で実施されている。この事業は主に地域包括支援センターが担い、相談件数は1万3千件超で年々増加している。市は毎月実施している連絡会議で、相談スキルや対応能力の向

総務文教委員会

総務部、経営企画部、教育部、会計課、監査事務局等の事務について調査研究しています。



基金管理運用聴取委員会聴取報告書を基に調査

市は令和7年5月12日に基金管理運用聴取委員会を設置し、平成30年度以降の基金運用について関係者から事実関係を聴取し、令和7年11月に「聴取報告書」を議会へ報告。報告書を基に基金運用等に関する調査を実施した。

調査結果

この間の基金運用に関して、市の財務規則等に則っていないことは認めている。今後は再発防止に努め、今後の市政運営をしっかりと行うことで責任を果たす。

委員会からの提言

地方自治法や市の財務規則に反して基金運用を行っていたことに対して顧問弁護士等の見解は聞いておらず、違法・適法については法的根拠を示して市民や議会に説明すべきである。ま



▲基金管理運用聴取委員会の報告書



報告書はこちら



報告書はこちら

上を図っており、今の人員で対応可能と判断している。**要介護認定は、申請・要介護認定審査・結果通知の3段階からなる。通知まで原則30日以内だが、平均で40日ほど要している。主治医の意見書待ちなど、必要書類が揃うまでに日数がかかっていることが原因である。****委員会からの提言**
対象者の増加に備え、中学校区ごとの地域包括支援センター設置、地域ボランティア団体への支援拡充などの抜本的改革、土・日・祝日の訪問調査対応の拡充などの体制作りが必要。



▲農業委員会事務局

家屋調査士の資格を持つ中立委員である。**農業委員会は、**農地の売買や貸借の許可、農地転用案件への意見具申、遊休農地の調査・指導などをしていく。許可された農地が適正に運用されているか定期的に状況確認を行っている。農業者を代表する組織として農業者の声を行政・政策に届ける取り組みを行っている。**委員会からの提言**
「農地等の利用の最適化の推

進に関する指針」を掲げ、農地の状況調査や農家の情報収集等に取り組んでいるが、農地の集積や後継者不足等課題も多い。他組織と行政が連携し、対策を実施する必要がある。



報告書はこちら

先進地への視察 議会運営委員会 浅口市議会BCPを視察



議会BCP(災害時の議会機能継続計画)の充実を図るため、令和7年9月に同計画を策定した岡山県浅口市を視察。

調査結果

災害発生時にも議決機関の機能を維持し早期復旧を目的とし、過去の災害の教訓や新型コロナウイルス発生時および南海トラフ巨大地震への対応も想定されている。

視察研修を終えて

浅口市では委員会条例を改正し、災害発生時にオンラインでの委員会出席を可能としている。議員からの被災情報をタブレットで集約・伝達し、担当課が混乱しないように工夫されていた。年1回梅雨入り前に防災訓練の実施を予定。防災士資格所有者も職員と議員で一定数の人員だった。また、災害発生時の情報伝達を円滑に行うため、平時の執行部防災会議に議長も出席している。本市でも検討が必要と考える。



報告書はこちら

議会だよりふくつをお読みいただきありがとうございます。紙面に対する感想やご意見などがありましたら、声をお聞かせください。いただいた内容は今後の編集の参考とするほか、紙面で紹介する場合もあります。なお、原則、直接回答は行っていないのでご了承ください。

POST CARD

8 1 1 - 3 2 9 3
福津市役所
議会事務局 行

G FUKUTSU
議会だより ふくつ

2026. 春 号

フリガナ
氏名

年齢

歳

住所 〒

電話番号（紙面掲載時の確認の際に連絡します）

ペンネーム

G-FUKUTSU 春

議会だより ふくつ

議会の傍聴 中継・録画配信

議会を傍聴してみませんか。傍聴の際は、傍聴規則を遵守し、大声や拍手を厳に慎んでいただきますようお願いします。なお、本会、予算・決算審査特別委員会は、中継と録画配信（開催日の翌日から原則3日以内に配信）もしています。

※託児サービスあり(要事前予約)



中継・録画配信

次回の定例会

6月定例会
6月8日(月)開会
6月23日(火)閉会予定



市議会HP

議会の地位

住民を代表する公選の議員で構成される地方公共団体の議事機関です。

議会の二つの使命

- ①地方公共団体の条例や予算等の団体意思を最終的に決定すること。
- ②執行機関の行財政の運営や事務処理ないし事業の実施が、すべて適法かつ適切に、公平で効率的に、そして民主的になされているかどうかを批判し監視すること。

議員の職責

議会の二つの使命を完全に達成できるよう懸命に努力すること。

編集後記

今号は、令和8年度当初予算を特集しました。17人の議員それぞれが、どういう視点で予算を審査したのか、少しでも皆さまに伝わればとの思いで作成しましたが、いかがだったでしょうか。また、今号の表紙と特集では勝浦人形浄瑠璃保存会の皆さまに登場いただきました。伝統を大事にする福津市でありたい！との思いも込めて編集しました。ご協力ありがとうございました。

(岩下 豊)

発行責任者 議長 高山 賢二

議会広報調査特別委員会

委員長 中村 恵輔

副委員長 中村 晶代

委員 大山 隆之 岩下 豊

井手口 忠信 倉元 敏徳



福岡県みやま市議会から行政視察に来訪

議会トピックス

閉会中の議会の動きを紹介します。

同市議会・議会報編集特別委員会が、議会だより編集作業の進め方や今後の課題等について、G-FUKUTSUの取り組みを視察されました。

編集体制や委員の選任方法、発行までのスケジュール、役割分担や表紙の作り方など、質問は多岐にわたりました。

また、互いの編集作業の課題や工夫の情報共有を行い、活発で有意義な意見交換となりました。

2/6

表紙と特集のデザインが印象的、でも難しい内容でした

表紙は、アニメのデザインを参考にしているとすぐにわかりました。また、議員さん

おたより
カフェ

議会だよりについて
の市民の皆様の
感想やご意見を
紹介します。

表紙をみたときに、かなり斬新だと思いました。前々回は、温かい介護の場でほっこりしていたので、個人的にはそちらのほうが好きです。議員さんのリアルを見て、働き方はイメージ通りですが、社会保障が無いのはかわいそう

議会基本条例を
策定するのは
わかるけど...

が優遇されているイメージがありました。年金や退職金がないのは初耳です。議員さんって大変なんだなと思いました。私にはできない働き方です。議会基本条例は、ちよつと難しい内容でしたので、理解できていません。

(マンマルさん/30歳代)

と感じました。市民のイメージは私も同じような印象です。議会基本条例は、解説していただいているのですが、市民の生活にどのようなことが直結しているのかが疑問として残りました。私にとって、少々難しい内容だったのかもしれない。色々、議員さんたちも大変だと思いますが、まちをよくするために頑張っていると思っております。

(マッシュさん/50歳代)

ふんちゃんを探せ！
ふんちゃんクイズ 答え

①勝浦人形浄瑠璃保存会
②3会派
③205人



調査内容は①広報ふくつを知っていますか、②議会だよりG-FUKUTSUを知っていますか、の2問。3力所の合計で205人の回答中、広報ふくつの認知度は196人のG-FUKUTSUの認知度は152人でした。調査前、広報委員の間では認知度が低いのでは？との予想もありましたが、調査結果は「知ってるよ」が多く、「読んでいるよ」との回答には感謝の思いが込められました。

議会だより「G-FUKUTSU」は、市民の皆さんの手に取っていただけているか、アンケートを行いました。

2月6日に福津市役所2力所と図書館に分かれて、広報委員6人でアンケート調査を行いました。

お忙しい中、ご協力をいただいた皆さん、ありがとうございました。

市役所では、正面玄関と別館入口の2力所で実施。調査日は、衆議院議員選挙の期日前投票の期間中だったため多くの来庁者があり、大勢の市民にご協力いただきました。



調査内容は①広報ふくつを知っていますか、②議会だよりG-FUKUTSUを知っていますか、の2問。3力所の合計で205人の回答中、広報ふくつの認知度は196人のG-FUKUTSUの認知度は152人でした。調査前、広報委員の間では認知度が低いのでは？との予想もありましたが、調査結果は「知ってるよ」が多く、「読んでいるよ」との回答には感謝の思いが込められました。



より多くの皆さんに親しまれる議会だよりを。毎号のG-FUKUTSUに対して多くの市民から、時には厳しいご意見や励ましの言葉など、率直なご感想が寄せられています。関心を持っていただきありがとうございます。その声を真摯に受け止め、より良い紙面づくりに邁進してまいります。

み上げました。G-FUKUTSUの第一目標である「まず、目に留まる」は達成していると実感できました。

より多くの皆さんに親しまれる議会だよりを



今後とも、ご意見ご感想などよろしく願います。

感想やご意見は、以下のはがきを切り取り、切手を貼って郵送するか、市役所、市図書館、津屋崎行政センター設置の意見箱に投函してください。なお、右の感想・ご意見フォームからも提出できます。



感想・ご意見フォーム

議会だより ふくつ

2026.春号

特集 未来に何を残すのか

Q1 今号でよかったと思う記事をご記入ください。

Q2 改善してほしいと思う記事をご記入ください。

Q3 紙面の感想やご意見があればご記入ください。

なるほど 福津市議会 ⑨

「予算で見える、福津のこれから」

●臨時行財政運営方針ってなに？

～厳しい財政状況を乗り越えるための方針

現在、基金運用の課題、解決を急ぐ課題が重なっています。限られた資源で「何を守り、何を未来に残すか」を選び抜く市政を行うため、この方針が定められました。

特に2年間は、緊急性や重要性が高い3つの柱に集中されます。



詳細はこちら



3つの柱と当初予算
令和8年3月定例会では、令和8年度当初予算を審議しました。次の3つの柱①

災害に強く、安心して暮らせるまちづくり
②次世代を育む教育環境の整備③人も企業も行政も稼ぐまちづくり」を踏まえた当初

予算となっています。しかし、市民サービスの低下を招かないことが重要であるため、市議会では慎重に審議しました。